

挨拶

Greetings from the youth department manager

川口市管工事業協同組合青年部
部長 増田喬歳

令和6年度、川口市管工事業協同組合青年部部長を仰せつかっております増田喬歳と申します。昭和50年に発足をしてから、今年で創立50周年を迎えることとなりました。これもひとえに親組合の皆様のご理解とご協力、そして多大なるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

初代部長から続き、私で22代目部長という長い歴史の中で50周年という節目の年に部長を務めさせていただけることを光栄に思うとともに偉大な諸先輩方が繋いできたバトンをしっかりとして後世に受け継がなければならないその責任の重さに身が引き締まる思いです。

私は平成15年に入部し、はじめはわからないことだらけでしたが、やさしい先輩や仲間にも恵まれて気づけば21年間あっという間に過ぎていました。この青年部活動を通じて、技術の習得や知識の向上、組織運営など色々なことを学ばさせていただきましたが、私が今でも一番大切に想っていることは、「人と人とのつながり」そして「仲間との出会い」です。

私は現在、単組川口より埼管連青年部協議会を通じて全管連青年部協議会へ理事として出向させていただいております。川口のメンバーや埼玉県連の仲間、そして全管連の仲間と共に管工事業界の発展や次世代への担い手育成事業の取り組み、また会員同士の親睦交流など様々な活動を行っておりますが、今後の大きな課題はやはり会員数の減少です。

私が入部したときは23名ほどいた部員数も、今では現役15名で活動しています。建設業界のみならず、後継者不足や担い手不足は日々深刻化を増しています。こういう時代だからこそ、こういう時代だからこそ、我々青年部ができることを考えて知恵を出しあい工夫をして、魅力ある青年部をそして魅力あふれる管工事業界にしていかなければならないと思います。

今回50周年の記念事業として、川口市内の小学校全52校のうち50校の放課後児童クラブ内の水栓（81栓）を一部自動水栓に交換するという事業を実施させていただきました。ライフラインを担う者として、節水への意識や限りある水資源の大切さを少しでも子供たちに伝えていきたいという想いからはじまった事業で学校関係者や子供たちから感謝の気持ちを伝えていただいたときには部員一同達成感でいっぱいでした。

今後とも地域社会や地元企業などとも連携を図り、積極的に社会貢献活動もおこなっていただければと考えております。

一人の青年部員として、大切な仲間と出会い、共に活動をしてきた時間はかけがえのないもので一生の財産です。これからも大切な仲間と共に、自企業の成長や地元地域への貢献、そして管工事業界発展のために、全力で取り組んでいく所存であります。

今後とも川口市管工事業協同組合青年部を宜しくお願い申し上げます。